

※ 今週のアウトルック (8/7~8/11)

先週前半は小動な展開となりましたが、米国雇用統計の結果が予想を上回ったため、発表後はドルの買い戻しが入りました。

今週は、この流れからのドルの買い戻しがどの程度まで進むかが注目されますが、金利動向に変化をもたらすような大きな変化ではなかったため、早期に終息してしまい、レンジ的な動きとなる可能性もあるように思います。

先週のドル円は、木曜日には110円以下まで売り込まれる場面もありましたが、金曜日の米国雇用統計の結果が予想を上回ったため、一時は111円近くまで買い戻しが進みました。

今週は、この流れをどの程度継続できるかが注目されますが、111円を完全にクリアできなかった場合には、暫くレンジ的な動きとなってしまう可能性が高いように思います。

ドル円の予想レンジは109円から112円です。

ユーロは先週、米国雇用統計発表後、ユーロドルの上昇が一服したため、ユーロ円も再び130円付近まで引き戻されています。

今週は、再びユーロドルが上昇基調を再開できるのか、ユーロ円が132円付近のレジスタンスを突破できるのかが注目されますが、しばらく停滞してしまう可能性も十分にあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは128円から132円です。

ポンド円は再び144円付近まで下落しています。このまま144円付近のサポートを抜けてしまうと、140円以下を目指す下降トレンド入りの可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは140円から147円です。

今週は、米ドル雇用統計の好結果を材料にドルの買い戻しに期待がかかりますが、期待外れに終わってしまう可能性も考慮したほうが良さそうです。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。